

edish 防災用途

丸紅株式会社



災害時の避難所 でのごみ問題

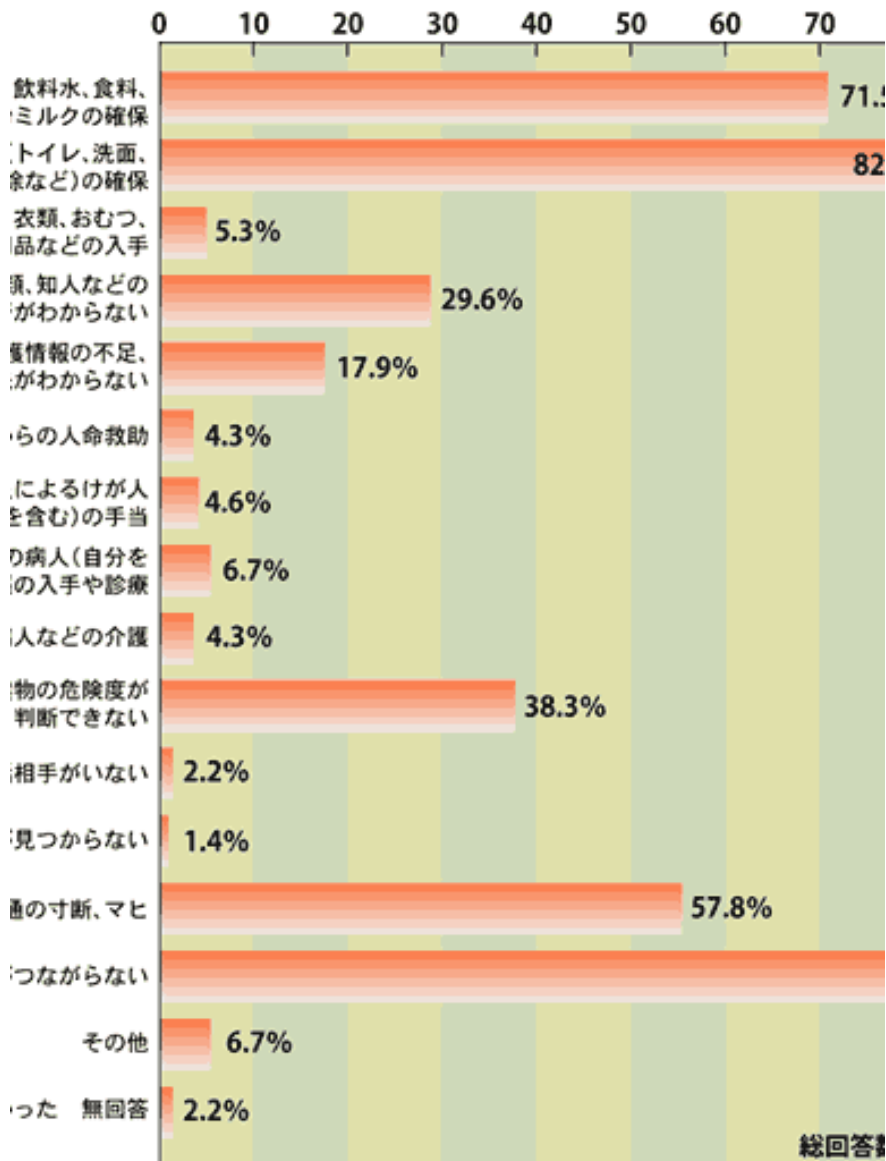
- 避難場所においても生活ごみ発生。
- 災害発生時はごみ焼却施設の被災、道路の寸断により回収不能になるケースも考えられる。（ex:熊本地震）
- 特に生ゴミは臭いを放ち、蛆虫を発生させ、感染症の原因ともなる。

表7-1 避難所ごみ発生量の推計（県合計） 〈青森県の報告より〉

想定太平洋側海溝型地震		想定日本海側海溝型地震		想定内陸直下型地震	
避難者数 (人)	発生量 (t/日)	避難者数 (人)	発生量 (t/日)	避難者数 (人)	発生量 (t/日)
182,000	126.7	41,000	28.5	68,000	47.3

市民意識調査「震災後、最も困ったのは生活用水」

震災後、どんなことでお困りになりましたか(複数回答)



平成7年度 西宮

出典:「阪神・淡路大震災の記録 別巻:資料編」(ぎょう)



避難所での水の問題

避難所で食器類を洗う水を確保するのは難しい。

edishとは

丸紅株式会社の行っているビジネスコンテストにて誕生。

何度でも生まれ変わることができる**“循環型食器”**。

これまでほとんど用途がなかった食品廃材をパルプモールドの技術で成型した食器。

生分解が早く、使用後は土に埋めれば分解される。

<3つの特徴>

1. 素材は食品廃材と木質パルプ



2. 様々な食品廃材、デザインも自由



3. 耐水性、耐油性は完璧



小麦ふすま、コーヒーチャフ、
コーヒー粕、茶葉、カカオハ
スク、リンゴ粕、ミカン粕、
モルト粕、竹...
全て成型可能



<ラインナップ>



edish bowl

テイクアウト用丼容器



edish flat

平皿タイプ



edish deep

深皿タイプ



edish tray

edish bowl に取り付けられる
おかず用トレーのedish。



edishアイテム

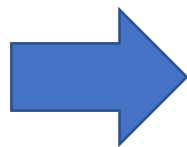
- edish cutlery
- edish straw
- edish cup
- edish lid
- edish lunch box
- edish small cup

edishの生分解性

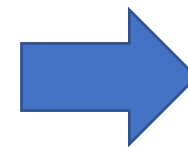
<堆肥化装置での分解実験>



破碎



堆肥化装置にて
1か月分解



<海中での分解実験>

処理 20 日後



海水へ投入後20日間で30%分解
3か月ではほぼ姿が見えなくなった。

edishによる問題解決

- edishを避難所での食器として使用。
- edish素材であらゆる食器（平皿、丼型、コップ、カトラリー、ストロー）が用意できるためプラスチック等の難分解性の食器を用意する必要がない。
- edishは使い捨て容器として使用。洗浄は不要。
- ゴミの回収車が来れない場合、使用後のedishは避難所で発生する生ゴミ（食べ残しや保存がきかない余剰食品）とともに埋め立てにて処理。土に還る。
- ゴミとして放置せず、埋め立てで処分できるため感染症の発生を抑えることができる。
- 食品廃材を材料に使っているため製造から処分まで含めたCO2の発生量を抑えることができる。



最後に

- 避難所での使用を想定した実証実験にご協力いただける自治体の方、
- 避難所での食やゴミに関する商品や技術をお持ちの企業の方、

ご連絡をお待ちしております！